

事業計画書

昨今の食料品等諸物価、光熱水費・燃料費の高騰と、最低賃金引き上げに伴う人件費の増加により、運営が厳しく収支がマイナスに悪化している介護・老人福祉施設、事業所等が増えてきている状況です。

当法人施設においても、運営状況は非常に厳しく特に、特別養護老人ホームにおいては、短期入所の稼働率が低く収益率低下の大きな要因となっています。

このことから今年度は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構の専門家派遣事業を活用した外部専門家の知見の吸収とアドバイス等を有効活用し、経営改善に向けた取組を行います。

また、効率的な運営を目指すべく就業規則、給与規程等を全面的に見直し、令和8年度においては、これを基に経費の削減を図りつつ、年間稼働率95%以上を計画し、利用者促進に努め経営の安定を目指してまいります。

1 事業計画

法人は、次の事項等によって事業を推進していきます。

(1) 運営する事業及び運営方針

ア、養護老人ホームの運営

① 養護老人ホームちのみの郷

老人福祉法及び法人の掲げた理念に基づき、またはそれに添った運営を行い、利用者様が健康で明るく生きがいのある生活ができるよう努めます。

② 養護老人ホームちのみの郷指定特定施設入居者生活介護事業

身体介護又は生活援助のサービスが必要になった利用者様の意向を尊重したサービス計画を立て、それに基づき、日常生活における必要なサービスを提供してまいります。

③ 利用者様の確保

退所者の後の補充は、契約入所も含めて空室解消に努め、収支の改善を図ってまいります。

④ 職員の確保

介護職員等の体制は最低限確保されているが、余裕あるサービス提供の維持の必要性から、公募以外の活用も図ります。

④ 施設設備の改修計画

平成8年の改築からの経年とともに施設設備の老朽化が進行しているが、自然災害時における付帯設備の損傷が見込まれ、関係機関との協議を交えて、最低限の日常生活に影響を及ぼす設備の改善を検討してまいります。

2 LED 照明設備への更新は大方終えていますが、利用者様トイレのスポットライト18w級53灯をLEDに交換します。

イ、特別養護老人ホームの運営

① 特別養護老人ホームちのみの杜

施設利用者様の人格や意思を尊重し、介護福祉の立場に立ったサービスの提供を行い、日常生活が十分に満足していただけるように努めてまいりますとともに、感染症対策を徹底し感染予防に努めます。

② ちのみの杜短期入所生活介護事業

利用者様に対し、日常生活が営められるよう、身体介護や生活援助等を行い、利用者様の心身機能の維持並びに御家族の負担の軽減が図れるよう努めるとともに関係各機関との連携、推進にも配慮してまいります。

③ 大変厳しい経営環境にあるなか、令和８年度に置きましても引き続き運営改善に、努めて参ります。

取組としては

○人材確保のために

- ・ハローワーク等の公的機関での求人説明会の実施を継続していきます。
- ・福祉系専門学校等の訪問により採用につながるよう努めます。
- ・ホームページに求人情報の掲載をします。
- ・外国人採用の早期実施に向けた環境を進めます。

○安定収入を図る稼働率の向上のために

- ・常に入所予定者を確保し、空所時に速やかに新入所者の受入に努めます。
- ・利用者様の体調変化を把握し、早急な対応を図るため協力医療機関である浦河赤十字病院との連携を密にし、入院者の減少並びに入退院の調整を円滑に進めます。
- ・介護保険報酬の増加を図るため、生産性向上のための取組を強化します。

○運営・設備支援の継続について

- ・国や道の生産性向上に向けた支援事業（補助金事業）を積極的に活用した IT 化及びデジタル化による業務の効率化・生産性向上に努めます。
- ・一般施設の稼働率は年次上昇してきていますが、短期入所施設の稼働率は依然と低く、稼働率向上に向けた努力は当然してまいります。経営の安定化までには時間を要することから今後も浦河町に対して運営支援を要望してまいります。

(2) 施設等の入所・利用定員

ア、養護老人ホーム

- ① 養護老人ホームちのみの郷 75名 ショートステイ 2名
※契約入所利用者含む

- ② 内指定特定施設入居者生活介護事業所 34名

イ、特別養護老人ホーム

- | | |
|--------------------|-----|
| ① 特別養護老人ホームちのみの杜 | 50名 |
| ② ちのみの杜短期入所生活介護事業所 | 8名 |

(3) 施設等の職員の職種・職名及び数

	養護老人ホーム				特別養護老人ホーム				合 計			
	常 用 職 員	定 時 職 員	契 約 職 員	計	常 用 職 員	定 時 職 員	契 約 職 員	計	常 用 職 員	定 時 職 員	契 約 職 員	計
施設長	1			1	1			1	2			2
事務長												
事務員	2	1		3	1			1	3	1		4
生活相談員	3			3	1			1	4			4
介護支援専門員		1		1	1			1	1	1		2
栄養士	1			1	1			1	2			2
看護職員	3			3	1	1	2	4	4	1	2	7
介護・支援員	12	8		20	13	5		18	25	13		38
介助員	1	3		4	1			1	2	3		5
調理員	4	2		6	4			4	8	2		10
用務員	1			1	1			1	2			2
計	28	15		43	25	6	2	33	53	21	2	76

※数は、4月1日の職員数となります。

(4) 利用者様の生活相談・支援

- ① 利用者様の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、利用者様又は家族に対し、適切な相談、助言を行うとともに、必要な支援を今後も行っていく予定です。
- ② 養護老人ホームにおいては、利用者様がお互いにいたわり合い、他人に迷惑をかけるなど、思いやりのある人間関係で楽しく充実した生活ができるよう支援します。

また、特別養護老人ホームでは、利用者様がお互いに尊重しあい、毎日が元気で明るく生活できる環境作りを職員一同、誠意を持って努めてまいります。

- ③ 「自分で出来ることは自分です。」を生活の基本に、利用者様の適正に応じたクラブ・行事等への参加を促し、融和をはかりながら生きがいを支援します。

(5) 健康管理

- ① 養護老人ホームは健康維持の増進として毎朝のラジオ体操、その後の軽い歩行訓練の実施、更にリハビリ体操の継続をしていきます。

特別養護老人ホームにおいても、健康維持の増進に努めるとともに、感染症予防対策を充実してまいります。

- ② 週一回の日赤病院医師による往診、毎月の血圧・体重測定、養護老人ホームにお

いては年二回の健康診断の実施を行い、利用者様の健康管理を図っていきます。

- ③ うがい・手洗いの励行、毎日の施設内の換気・消毒の実施、希望者にはインフルエンザ等の予防接種、更に入浴・洗濯・清掃など衛生面などに配慮した援助を行い、感染症等の予防に努めていきます。

(6) 施設等の行事

① 主要行事等（家族へ出欠の周知）

- ・観桜会（5月） 家族会総会の後に行います。
- ・夏まつり（8月） 午後、縁日などで楽しめます。
- ・敬老会（9月） 式典・祝賀会

100歳記念品 法人、家族会

白寿記念品 法人

米寿記念品 浦河町

喜寿記念品 浦河町

※ その他、新年会なども計画されてます。

② 季節に応じた行事

- ・桜、紅葉見学 ・盆、彼岸供養会（年3回） ・かき氷の会 ・豆まき
- ・ひな祭り など

③ 定期または2ヶ月毎の行事

- ・ショッピング ・大相撲星とり大会 ・ビデオ鑑賞会
- ・クラブ活動（ゲーム、手芸、カラオケなど） など

④ 毎月の行事

- ・誕生会 ・散髪・美容室 など

⑤ 慰問等の行事

- ・町民吹奏楽団 ・幼稚園 ・老人クラブ ・民謡、踊りなど

⑥ 会議に関する行事

○入所者関係

- ・生活懇談会（毎月）

○施設等関係

- ・年4回 ・全体会議（研修会）
- ・毎月 ・感染症対策委員会 ・身体拘束委員会 ・施設運営会議
- ・入所者処遇会議 ・事故発生防止対策委員 ・給食運営会議
- ・給食会議

※②～⑥までは養護老人ホーム又は特別養護老人ホームそれぞれに行っているもの
行っていないものがあります。

(7) 防災計画

- ・避難訓練（火災 年2回、自然災害 年2回）

(8) 職員研修

職種別研修会・講習会などへ参加し、職場研修にも取り組んでいきます。

2 役員運営

(1) 役員の数

理事	7名
評議員	8名
監事	2名

(2) 理事会・評議員会の開催計画

- ・3月下旬 新年度の事業報告書及び収支予算書の審議
- ・6月上旬 前年度の事業報告書及び収支決算書の審議
- ・その他 懸案事項等必要に応じて随時開催

(3) 監事監査の開催計画

- ・定例監査 年3回 8月、11月、2月
- ・決算監査 5月中旬

3 予算の執行

令和8年度の事業の運営（法人本部は除く）は、次によって行います。

・事業活動収支

（単位：千円）

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入	498,923	7,088	256,898	△4,117	242,025	11,205
支出	494,247	△20,562	253,302	△23,385	240,945	2,923
収支差額	4,676	27,550	3,596	19,268	1,080	8,282

・施設整備等収支

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入	0	△950	0	△600	0	△350
支出	1,343	△993	1,250	△316	93	△677
収支差額	△1,343	43	△1,250	△284	△93	327

・その他の活動収支

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入	0	0	0	0	0	0
支出	11,960	679	2,800	△231	9,160	910
収支差額	△11,960	△679	△2,800	231	△9,160	△910

・当期資金収支差額

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	△8,627	26,914	△454	19,215	△8,173	7,699

・前期末支払資金残高

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	42,674	△10,010	15,303	△8,305	27,371	△1,705

・当期末支払資金残高

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	34,047	16,904	14,849	10,910	19,198	5,994

※法人本部の部分は含まれていません。

以上の予算を以って執行いたします。

内訳等は、予算書のとおりとなっています。

資金収支予算書

(自) 令和 8年 4月 1日 (至) 令和 9年 3月31日

社会福祉法人 浦河愛生会

(単位:千円)

勘定科目		本年予算額 (A)	前年予算額 (B)	差異 (A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	経常経費補助金収入		7,000	△ 7,000	
	介護保険事業収入	325,018	307,400	17,618	
	老人福祉事業収入	164,835	167,815	△ 2,980	
	経常経費寄附金収入	150	200	△ 50	
	借入金利息補助金収入				
	受取利息配当金収入	20		20	
	その他の収入	8,900	9,420	△ 520	
	事業活動収入 計 (1)	498,923	491,835	7,088	
	支出				
	人件費支出	332,003	347,378	△ 15,375	
施設整備等による収支	事業費支出	127,280	128,918	△ 1,638	
	事務費支出	36,118	39,147	△ 3,029	
	支払利息支出	1,184	1,080	104	
	事業活動支出 計 (2)	496,585	516,523	△ 19,938	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	2,338	△ 24,688	27,026	
	収入				
	施設整備等補助金収入		950	△ 950	
	施設整備等寄附金収入				
	施設整備等収入 計 (4)		950	△ 950	
	支出				
	固定資産取得支出		1,606	△ 1,606	
その他の活動による収支	固定資産除却・廃棄支出				
	ファイナンス・リース債務の返済支出	1,343	730	613	
	施設整備等支出 計 (5)	1,343	2,336	△ 993	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,343	△ 1,386	43	
	収入				
	長期運営資金借入金収入				
	積立資産取崩収入				
	その他の活動収入 計 (7)				
	支出				
	長期運営資金借入金元金償還支出	9,360	8,581	779	
	積立資産支出	200	200		
	その他の活動支出 計 (8)	9,560	8,781	779	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 9,560	△ 8,781	△ 779	
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△ 8,565	△ 34,855	26,290	
前期末支払資金残高 (11)		43,308	52,884	△ 9,576	
当期末支払資金残高 (10)+(11)		34,743	18,029	16,714	

社会福祉事業区分 資金収支予算内訳表

(自) 令和 8年 4月 1日 (至) 令和 9年 3月31日

社会福祉法人 浦河愛生会

(単位:千円)

勘 定 科 目		法人本部 拠 点	養護老人 ホームちの みの郷拠点	特別養護老 人ホームちの みの杜拠点	合 計	内部取引 消 去	事業区分 合 計
事業活動による収支	収 入	経常経費補助金収入					
		介護保険事業収入		91,463	233,555	325,018	325,018
		老人福祉事業収入		164,835	164,835		164,835
		経常経費寄附金収入		100	50	150	150
		借入金利息補助金収入					
		受取利息配当金収入			20	20	20
		その他の収入		500	8,400	8,900	8,900
		事業活動収入 計 (1)		256,898	242,025	498,923	498,923
	支 出	人件費支出	725	159,639	171,639	332,003	332,003
		事業費支出		75,153	52,127	127,280	127,280
施設整備等による収支		事務費支出	1,613	18,046	16,459	36,118	36,118
		支払利息支出		464	720	1,184	1,184
		事業活動支出 計 (2)	2,338	253,302	240,945	496,585	496,585
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 2,338	3,596	1,080	2,338	2,338
	収 入	施設整備等補助金収入					
その他の活動による収支		施設整備等寄附金収入					
		施設整備等収入 計 (4)					
	支 出	固定資産取得支出					
		固定資産除却・廃棄支出					
		ファイナンス・リース債務の返済支出		1,250	93	1,343	1,343
その他の活動による収支		施設整備等支出 計 (5)		1,250	93	1,343	1,343
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 1,250	△ 93	△ 1,343	△ 1,343
	収 入	長期運営資金借入金収入					
		積立資産取崩収入					
		拠点区分間長期借入金収入					
		拠点区分間長期貸付金回収収入					
		拠点区分間繰入金収入	2,400		2,400	2,400	
		その他の活動収入 計 (7)	2,400		2,400	2,400	
	支 出	長期運営資金借入金元金償還支出		1,500	7,860	9,360	9,360
		積立資産支出		100	100	200	200
施設整備等による収支		拠点区分間長期借入金返済支出					
		拠点区分間長期貸付金支出					
		拠点区分間繰入金支出		1,200	1,200	2,400	2,400
		その他の活動支出 計 (8)		2,800	9,160	11,960	9,560
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,400	△ 2,800	△ 9,160	△ 9,560	△ 9,560
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		62	△ 454	△ 8,173	△ 8,565		△ 8,565
前 期 末 支 払 資 金 残 高 (11)		634	15,303	27,371	43,308		43,308
当 期 末 支 払 資 金 残 高 (10)+(11)		696	14,849	19,198	34,743		34,743